

## 《履修モデル》

講座	2.人間・社会・思想講座	
学系	国際文明学系	
関係・分野	社会相関論（文明構造論分野）	
教員	教授：細見 和之（ドイツ思想）	准教授：小林 哲也（ドイツ文学・精神史）
1回生	ヨーロッパの思想・哲学に関する全学共通科目、ILASセミナー など	ヨーロッパの思想・哲学に関する全学共通科目、ILASセミナー など
	学部科目「国際文明学系入門A」を履修すること。外国語については、ドイツ語を履修することが望ましい。	
2回生	文明構造論ⅣA・B	文明構造論ⅣA・ⅣB
	学部専門科目である講義科目、基礎ゼミナールも意識して履修すること。	
3回生	文明構造論演習ⅢA・ⅢB	文明構造論演習ⅢA・ⅢB
	副専攻科目の計画的な履修を行ってください。	
4回生	文明構造論演習ⅢA・ⅢB	文明構造論演習ⅢA・ⅢB
	対象領域の言語であるドイツ語を大切に文献研究を基本としていますが、関心は専門領域に限定されていませんので、みなさんの関心を各教員に率直にぶつけてみてください。 また、文学部などの科目を積極的に履修されることも推奨します。	
対象領域の言語であるドイツ語を大切に文献研究を基本としていますが、関心は専門領域に限定されていませんので、みなさんの関心を各教員に率直にぶつけてみてください。 また、文学部などの科目を積極的に履修されることも推奨します。		

## 《履修モデル》

講座	6,東アジア文明講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論 (文明構造論分野)
教員	准教授：小野寺 史郎 (中国近現代史)
1回生	<p>全学共通科目 (東洋史) および東洋史関連のILASセミナー など</p>
	<p>学部科目「国際文明学系入門A」を履修すること。外国語については、中国語を履修することが望ましい。</p>
2回生	<p>文明構造論 I B</p>
	<p>学部専門科目である講義科目、基礎ゼミナールも意識して履修すること。</p>
3回生	<p>文明構造論演習 I B</p>
	<p>副専攻科目の計画的な履修を行ってください。</p>
4回生	<p>文明構造論演習 I B</p>
	<p>卒業論文作成に向け、必要な知識を自主的に学修してください。テーマに関連する文学部の科目を履修することを推奨します。なお、科目区分に於いて、取りこぼした科目の履修を忘れないこと。</p>
<p>対象領域の言語である中国語を大切に文献研究を基本としていますが、関心は専門領域に限定されていませんので、みなさんの関心を教員に率直にぶつけてみてください。また、文学部などの科目を積極的に履修されることも推奨します。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会関連論 (多文化社会論)
教員	教授：森口 由香 (アメリカ史・アメリカ研究)
1～2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;</p> <p>英語リーディング/ライティング・リスニング/初修外国語/国際政治論Ⅰ・Ⅱ/西洋史Ⅰ・Ⅱ/東洋史Ⅰ・Ⅱ/中東近現代史/アメリカ現代史入門/政治学Ⅰ・Ⅱ/国際法入門など。</p> <p>&lt;学部科目&gt;</p> <p>多文化社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/多文化社会論演習ⅠA・ⅠB/国際関係論ⅠA・ⅠB/近代移民史A・B/欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/国家・社会法システム論(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B/公共政策論Ⅰ・Ⅱ/Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ/国際文明学入門A・Bなど。</p> <p>多文化社会論やアメリカ史関係を中心としつつ、英語や欧米圏に関する科目のみならず、人文・社会科学の様々な分野に関心に応じて幅広く学んでください。例えば上記のような科目を推奨します。年度によって科目名が変わる場合があるので、特に学部外科目についてはKULASISで事前に確認してください。</p>
3～4回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;</p> <p>外国文献研究-E1リーディング/英語以外の外国語科目</p> <p>&lt;学部科目&gt;</p> <p>多文化社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/多文化社会論演習ⅠA・ⅠB/国際関係論演習ⅠA・ⅠB/近代移民史演習A・B/欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB/中東近現代史/国家・社会法システム論(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B/Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱなど。 (1～2回生の欄に挙げた科目や、その演習科目などを必要に応じて選択してください。)</p> <p>卒業論文</p> <p>卒業研究に向けて、多文化社会論やアメリカ史・アメリカ研究を中心に、上に掲げた科目等を必要に応じて選択してください。科目選択に迷った場合には遠慮なく教員に相談してください。</p>
<p>担当教員の専門分野はアメリカ史・アメリカ研究ですが、文字通り「多文化」を凝縮したようなアメリカ社会は、世界の他の地域と、政治・経済・軍事・文化など様々な側面でつながっています。アジア、中東、ヨーロッパ等、世界のさまざまな地域の歴史・政治・文化について幅広く学び、「世界の中のアメリカ」や「アジア太平洋地域のアメリカ」を見る眼を養いましょう。ここに挙げた科目はあくまでも例ですので、個別テーマに合わせた科目履修については、ぜひ気軽にご相談ください。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論 (国際関係論分野)
教員	教授：齋藤 嘉臣
1～2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt;                      英語／初習外国語／国際政治論Ⅰ・Ⅱ／政治学Ⅰ・Ⅱ／                      経済学Ⅰ・Ⅱ／公共政策論Ⅰ・Ⅱ／国際法入門／                      法学／西洋史Ⅰ・Ⅱ／東洋史Ⅰ・Ⅱ／芸術学Ⅰ・Ⅱ／社会学Ⅰ・Ⅱ／文化人類学Ⅰ・Ⅱ</p> <p>&lt;学部科目&gt;                      国際文明学入門A・B／国際関係論ⅠA・ⅠB／多文化社会論ⅡA・ⅡB・ⅡA／                      国家・社会法システム論(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B／                      公共政策論Ⅰ・Ⅱ／社会経済システム論(Ⅰ・Ⅲ)A・B</p>
	<p>国際関係論を中心としながらも、それに限らず人文学・社会科学の多様な分野を学んで下さい。                      例えば上記のような科目を、関心や必要に応じて履修することを推奨します。</p>
3～4回生	<p>&lt;学部科目&gt;                      国際関係論演習ⅠA・ⅠB／                      社会経済システム論演習(Ⅰ・Ⅲ)A・B／                      公共政策論演習(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)A・B／                      文明構造論演習ⅢA・B</p>
	<p>&lt;1～2回生&gt;に掲げた科目等を中心に幅広く履修して下さい。                      また、卒業研究に向けて必要な知識を自主的に学修して下さい。</p>

## 《履修モデル》

学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論（国家・社会法システム論／法学分野）
教員	教授：小畑 史子（労働法） 准教授：見平 典（憲法・司法政治） 准教授：菊池 亨輔（法哲学・法思想）
1回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 法学／日本国憲法／労働と法／思想と法／統治機構論／政治学Ⅰ・Ⅱ／基礎演習：労働と法／基礎演習：現代社会と法／基礎演習：法哲学／労働と法 基礎ゼミナール／現代社会と法 基礎ゼミナール／法哲学 基礎ゼミナール 等。</p> <p>&lt;学部科目&gt; 国際文明学入門A・B 等。</p> <p>法学系科目だけに限定することなく、社会科学、人文学系の科目を幅広く受講してください。他の開講科目については、KULASISその他の情報を適宜参照してください。</p>
2回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国家・社会法システム論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／国際関係論ⅠA・ⅠB／社会経済システム論ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB／多文化社会論ⅠA・ⅠB／公共政策論Ⅰ・Ⅱ／文明構造論ⅢA・ⅢB 等。</p> <p>社会科学（特に政治学、経済学、公共政策学、社会学など）を広く学ぶとともに、全共科目・学部科目ともに法学系の発展的科目を受講して、より専門的な問題関心を深めてください。</p>
3回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国家・社会法システム論ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／国際関係論ⅠA・ⅠB／社会経済システム論ⅠA・ⅠB・ⅢA・ⅢB／多文化社会論ⅠA・ⅠB／公共政策論Ⅰ・Ⅱ／文明構造論ⅢA・ⅢB／国家・社会法システム論演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／卒業論文（指導）等。</p> <p>卒業研究で取り組む具体的な課題・主題を探求し、特定するための大事な時期です。学部開講の講義科目はもちろんのこと、演習科目も積極的に受講して、これならと思えるテーマを探り当ててください。</p>
4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 国家・社会法システム論演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB・ⅢA・ⅢB／卒業論文（指導）等。</p> <p>講義・演習への出席を通じて自分の関心に即した専門的な知見を深めるとともに、卒業論文の執筆に取り組む時期です。なるべく早いうちから指導教員と相談しながら、学部での学習過程の仕上げに専念してください。</p>
<p>入学当初から法学に関心をもって総合人間学部に入ってくる人は稀かもしれませんが、主な隣接分野（政治学、公共政策学、経済学、歴史学、倫理学、社会学）を学ぶ上でも、法学はしばしば避けて通れない領域を形作っています。また、国内外の具体的な社会問題を考える際にも、法学的な知見は大変大きな力になってくれるはずで、自分の関心に独自の角度から接近するためにも、法学上の知識と技法を思考の道具箱の一つに加えてみてはどうでしょうか。教員の専門分野はそれぞれ分かれています。まずは自分の興味関心が法学とどう関わってくるのか、気軽に相談してみてください。思わぬ視野が開けるかもしれません。（※上記諸科目の中には、隔年開講科目もあります（社会経済システム論ⅢA・ⅢB、多文化社会論ⅠA・ⅠB、文明構造論ⅢA・ⅢB等）。各年度に開講される科目については、開講科目表にて確認してください。）</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論（現代社会論分野）
教員	教授：大黒 弘慈（経済原論／経済思想） 准教授：柴山 桂太（マクロ経済学／経済思想）
1回生	<p>〈全学共通科目〉 経済学Ⅰ・Ⅱ／現代文明Ⅰ・Ⅱ／基礎演習：経済思想／基礎演習：社会経済システム論 〈学部科目〉 国際文明学系入門A・B／社会経済システム論ⅠA・ⅠB</p> <p>経済学に限らず、人文科学、社会科学の様々な分野を幅広く学んでください。</p>
2回生	<p>〈全学共通科目〉 統計リテラシー／現代経済経済社会論ⅠA・ⅠB／経済原論基礎ゼミナール／社会・経済システム原論基礎ゼミナール 〈学部科目〉 社会経済システム論ⅢB／社会統計論A・B／国際関係論ⅣA・B／現代社会論ⅡA・B／現代社会論（メディア社会史）</p> <p>経済学を中心とした社会科学の基礎を幅広く学ぶとともに、発展的な科目についても履修することを推奨します。</p>
3回生	<p>〈学部科目〉 社会経済システム論演習ⅠA・ⅠB／社会経済システム論演習ⅢA・ⅢB</p> <p>卒業研究の方向性を意識しつつ、専門的な内容を学修してください。必要に応じて、経済学部開講の専門科目も履修してください。</p>
4回生	<p>〈学部科目〉 社会経済システム論ⅢB／社会経済システム論ⅠA・ⅠB</p> <p>卒業研究に向けて、必要な知識を自主的に学修してください。</p>
<p>経済学の基礎的素養を身につけることはもちろん大切ですが、同時に経済学的思考法を相対化する目を養うことを忘れないでください。そのために人文科学・社会科学を分野横断的に幅広く学修してください。</p>	

## 《履修モデル》

講座	7.共生世界講座
学系	国際文明学系
関係・分野	社会相関論 (公共政策論分野)
教員	教授：浅野 耕太 (経済学)、佐野 亘 (政治学)
1～2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 政治学Ⅰ／政治学Ⅱ／経済学Ⅰ／経済学Ⅱ／国際政治論Ⅰ／国際政治論Ⅱ／法学／環境と法／思想と法／統計リテラシー／環境経済・政策論基礎ゼミナール、など</p> <p>&lt;学部科目&gt; 公共政策論Ⅰ／公共政策論Ⅱ／国際関係論ⅠA／国際関係論ⅠB／社会経済システム論ⅠA／社会経済システム論ⅠB／国家・社会法システム論ⅠA／多文化社会論ⅠA／基礎演習：公共政策論Ⅰ／基礎演習：公共政策論Ⅱ／基礎演習：環境経済・政策論、など</p>
	<p>ひろく社会科学に関する基礎的な知識を身につけることで、どのような方法論やアプローチにもとづいて公共政策に関わる問題について考察・分析をおこなうのか、考えられるようになることを目指す。</p>
3～4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 公共政策論演習ⅠA・ⅠB／公共政策論演習ⅡA・ⅡB／公共政策論演習ⅢA・ⅢB／社会経済システム論演習ⅠA・ⅠB、その他社会相関論または共生世界講座の諸科目</p>
	<p>1, 2回生に引き続き、ひろく社会科学に関する諸科目を履修するとともに、公共政策に関する演習に参加し、より専門的な知識や分析手法を身につけることにより、卒業論文の完成を目指す。</p>
<p>卒業論文を書くにあたっては、できれば、複数の演習に参加し、複数の先生にアドバイスをもらうことが望ましい。公共政策はさまざまな学問領域に関係するからである。必要であれば、他学部の講義を受講することも望ましい。積極的に学ぶ意欲さえあれば、総合人間学部ならではの、他の学部ではできないような研究をおこなうことが可能です。</p>	

## 《履修モデル》

学系	国際文明学系
関係・分野	歴史文化社会論（歴史社会論分野）
教員	教授：熊谷 隆之 佐藤 公美、吉江 崇 准教授：福元 健之 講師：Bhatte, Pallavi Kamlakar
1回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 日本史Ⅰ・Ⅱ、西洋史Ⅰ・Ⅱ、Western HistoryⅠ-E2・Ⅱ-E2、 日本古代・中世政治文化論基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ、 ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナールⅠ</p> <p>&lt;学部科目&gt; 基礎演習：日本古代・中世政治文化論Ⅰ・Ⅱ、基礎演習：ヨーロッパ中世史料入門、 基礎演習：ヨーロッパ近現代史入門、基礎演習：Contemporary History 現代史（以上、 ILASセミナーと同一科目）</p> <p>歴史社会論分野（または歴史文化社会論・国際文明学系）の教員が担当する全学共通科目のほか、人文・社会科学科目群、自然科学科目群などから、幅広く学識を身につけていきましょう。学系入門科目や外国語ももらさず履修しておいてください。</p>
2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 日本史各論（院政と仏教）、日本史各論（前近代日本の法と秩序）、 日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）</p> <p>&lt;学部科目&gt; 欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論ⅡA・ⅡB（ⅡAは2024年度のみ不開講） Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ</p> <p>全学共通科目の各論のほか、歴史社会論分野（または歴史文化社会論・国際文明学系）の教員が担当する2回生履修可能な学部科目を履修し、専門的な研究にふれていきましょう。副専攻科目についても履修していきましょう。</p>
3回生	<p>&lt;学部科目&gt; 欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論ⅡA・ⅡB（ⅡAは2024年度のみ不開講）、 欧米歴史社会論演習ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論演習ⅡA・ⅡB、 Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ、 日本歴史社会論ⅠA・ⅠB、日本歴史社会論ⅡA・ⅡB、 日本歴史社会論演習ⅠA・ⅠB、日本歴史社会論演習ⅡA・ⅡB</p> <p>卒業論文の内容と、それに伴う指導教員の選択を念頭に、欧米系か、日本系かのどちらかに重点をおいて履修してください。あわせて、歴史文化社会論（または国際文明学系）の学部科目や、文学部など他学部の授業を履修し、深い学識を身につけていきましょう。</p>
4回生	<p>&lt;学部科目&gt; 欧米歴史社会論ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論ⅡA・ⅡB（ⅡAは2024年度のみ不開講）、 欧米歴史社会論演習ⅠA・ⅠB、欧米歴史社会論演習ⅡA・ⅡB、 Contemporary and Modern HistoryⅠ・Ⅱ、 日本歴史社会論ⅠA・ⅠB、日本歴史社会論ⅡA・ⅡB、 日本歴史社会論演習ⅠA・ⅠB、日本歴史社会論演習ⅡA・ⅡB</p> <p>指導教員と相談して卒業論文のテーマを決め、それに適した授業を履修しましょう。</p>
<p>歴史学の知識や方法を体得し、よりよい卒業論文を作成するというのが最終的な目標です。総合人間学部の特色を生かして、歴史学だけでなく幅広い学問に接し、独自のテーマや分析視角を見つけ出してください。わからないことや迷うことがあれば、ためらわずに歴史社会論分野の教員へ声をかけてください。</p>	



## 《履修モデル》

講座	6.東アジア文明講座
学系	国際文明学系
関係・分野	歴史文化社会論 (東アジア文化論分野)
教員	<p>〈日本語学・日本文学〉教授：須田 千里(日本近代文学)、教授：佐野 宏(日本語学・上代文学)、教授：長谷川 千尋(日本古典文学)</p> <p>〈中国語学・中国文学〉教授：道坂 昭廣(中国文学)、教授：松江 崇(中国語学)</p> <p>〈中国史・中国思想史〉教授：辻 正博(中国古代～近世史)、准教授：福谷 彬 (中国思想史)</p>
1回生	<p>〈全学共通科目〉： 日本語学・日本文学：国語国文学Ⅰ・同Ⅱ／言学Ⅰ・同Ⅱ／日本近代文学Ⅰ・同Ⅱ／日本近代文学基礎ゼミナール 中国語学・中国文学：漢文学Ⅰ・同Ⅱ 中国史・中国思想史：東洋史Ⅰ・同Ⅱ／東洋史基礎ゼミナールⅠ／東洋社会思想史Ⅰ・同Ⅱ／東洋社会思想史基礎ゼミナール</p> <p>〈学部科目〉： 日本語学・日本文学：基礎演習 日本近代文学 中国語学・中国文学：中国文字文化論／中国書誌論／中国古典講読論A・B 中国史・中国思想史：基礎演習 中国史の基礎資料／基礎演習 中国社会思想史の基礎資料</p> <p>東アジア文化論・歴史文化社会論・国際文明学系の教員が担当する全学共通科目の他、人文・社会・自然科学系の科目を幅広く履修することをお勧めします。 2回生進級時に主専攻学系への分属が決まりますので、入門科目などを通じて各学系の特色を知り、希望する学系を絞り込んでゆきましょう(10月下旬ごろに分属説明会があります)。 1回生から履修できる学部科目もあります。</p>
2回生	<p>〈学部科目〉： 日本語学・日本文学：日本語学・日本文学ⅠA・B／同ⅡA・B／同ⅢA・B／同ⅣA・B 日本語学文献講読論Ⅰ・Ⅱ／日本古典講読論Ⅰ・Ⅱ／書論・書写演習A・B 中国史・中国思想史：中国社会論ⅠA・B／同ⅡA・B ※このほか、上記1・2回生の科目で取り残したものがあれば履修して下さい。</p> <p>2回生で主専攻学系への分属が決定します。学部講義科目の履修を通じて、専門的な学問の世界を体験しましょう。 東アジア文化論関係の講義科目は2回生から履修が可能です。同時に、副専攻をどれにするかを考えて科目を履修し、ものごとを複眼的に見る力を身につけましょう。 外国語科目はこの時期にきちんと履修しておきましょう。教員アドバイザーに勉学等の相談に乗ってもらうこともできますよ。</p>
3回生	<p>〈学部科目〉： 日本語学・日本文学：日本語学・日本文学演習ⅠA・B／同ⅡA・B／同ⅢA・B／同ⅣA・B／同ⅤA・B 中国語学・中国文学：中国文化論演習ⅡA・B 中国史・中国思想史：中国社会論演習ⅠA・B／同ⅡA・B ※上記1・2回生の科目で取り残したものがあれば履修して下さい。 このほか、下記のような文学部科目を興味や必要に応じて履修することを推奨します。 また、下記のような文学部科目を興味や必要に応じて履修することを推奨します。 系共通科目(国語学)(講義)／系共通科目(国文学)(講義)／国語学国文学(講読)／系共通科目(中国文学)(講義)／系共通科目(中国語学)(講義)／中国語学中国文学(講読)／系共通科目(東洋史学)(講義)／東洋史学(講読) など 国語学国文学(特殊講義)／国語学国文学(演習)／中国語学中国文学(特殊講義)／中国語学中国文学(演習)／東洋史学(特殊講義)／東洋史学(演習)／中国哲学史(特殊講義)／中国哲学史(演習) など</p> <p>東アジア文化論のどのジャンルで卒論を書くか、だれを指導教員に選ぶかを念頭に置いて、関係する学部科目(歴史文化社会論関係、社会相関論関係を含む)を履修します。演習科目もしっかり履修し、文献の読解力を身につけましょう。</p>
4回生	<p>指導教員と相談の上、上記1～3回生の科目で取り残したものがあれば履修して下さい。</p> <p>卒業論文執筆の指導教員を決め、卒論のテーマを決めます。テーマに関連した授業を中心に履修します。将来どのような分野に進んでも、卒論執筆は心に残るべきことです。4年間の勉学の成果を試す意味で、思う存分に書いてみましょう。</p>

## 《履修モデル》

講座	3.芸術文化講座
学系	国際文明学系
関係・分野	歴史文化社会論（西欧文化論分野）
教員	教授：池田 寛子 准教授：合田 典世
1回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; ILASセミナー E2 / 西洋史I / 西洋史学入門 &lt;総合人間学部科目&gt; 国際文明学入門A・B / 英米文学入門（基礎ゼミナール扱い） / 文化環境学入門</p> <p>全学共通科目では、フランス語やドイツ語のような西欧の文化を知るのに重要な語学を学習しておきましょう。ILASセミナーのE2（英語による授業）にも挑戦して語学のセンスをみがきましょう。 総合人間科目では、1、2回生において文化論の基礎を固めることを勧めます。</p>
2回生	<p>&lt;全学共通科目&gt; 外国文献研究 E1 / E2 / 西洋近世史学 ヨーロッパ近現代史入門 &lt;総合人間学部科目&gt; 英米文学入門（基礎ゼミナール扱い） / 西欧近現代表象文化論 IA・IIA / 西欧近現代表象文化論III A・III B / 西欧古代・中世表象文化論 IA・IB / 西欧近現代表象文化論演習III B / 欧米歴史社会論 IA・IB 中東近現代史（副） / 東アジア文化交渉論A（副） 共生世界論演習（副）</p> <p>全学共通科目では、初修外国語は、継続して学習する工夫を各自ですることを勧めます。関心に応じてイタリア語、ラテン語、ギリシャ語などに挑戦することもよいでしょう。英語（E科目）やILASセミナーでも、興味を引く内容の授業を探索してください。 総合人間科目では、人間科学系創造行為論関係や文芸表象論関係科目などの授業も積極的に受講することを勧めます。 1回生時に英米文学入門を受講していない人は2回生で受講してください（重複履修はできません。）</p>
3回生	<p>&lt;総合人間学部科目&gt; 西欧近現代表象文化論 II A / 西欧近現代表象文化論IV A（未定） 西欧近現代表象文化論演習 II A・B 欧米歴史社会論 IA・B / 多文化社会論 IA 東アジア比較思想論AまたはB（副） / 東アジア文化交渉論A（副） / 東アジア比較思想論演習A・B（副）</p> <p>初修外国語および英語は、継続して学習する工夫を各自ですることを勧めます。卒業論文のテーマについて、指導教員と話し合いながらおおまかな道筋を考え、それに向けて文献を収集したり、予備的な調査をしておきます。</p>
4回生	<p>&lt;総合人間学部科目&gt; 西欧近現代表象文化論 IA / 西欧近現代表象文化論IV A（未定） 西欧近現代表象文化論 II A / 西欧近現代表象文化論III B</p> <p>指導教員と頻りに面談しながら、卒業論文を作成します。夏休み明けに中間発表を行い、年内に形をつけ、一月に完成稿を仕上げます。</p>
<p>・西欧文化と一言でいってもその実体は多様であり、時代、地域、扱うジャンル、などによってもアプローチを変えていかなければなりません。ただし、西欧語圏のテキストを資料として扱う、という点は共通しているため、語学の力は必須です。</p> <p>・本関係と親和性の高い、他の学系や分野の授業も積極的に受講することを勧めます。例えば文芸表象論関係科目である英米文芸表象論（講義・演習）など。</p> <p>・副専攻として比較文明論を例としていますが、この部分は自由に考えてください。副専攻届の提出は3回生の10月ですが、早めから計画を立て、できれば1回生から履修してください。</p> <p>・3回生の後半から4回生で卒業論文執筆、大学院入試準備、就職活動などのための時間を確保できるよう、1、2回生、3回生前半でなるべく多くの単位を揃えるようにしましょう。</p> <p>・分属の前後に関わらず、分野の教員に遠慮なく相談してください。</p> <p>・表中の（副）は副専攻科目として推奨します。重複履修が可能な科目が多くありますので、学びを深めて下さい。</p>	